

## JIS Z 2305 : 2013 非破壊試験技術者資格試験

### 新規・再試験受験申請に関する注意事項（よくある不備について）

1月23日（月）より、2023年春期 新規・再試験受験申請が始まります。受付開始にあたり、受験申請に関する“よくある不備”についてまとめました。新規・再試験を受験申請する方は、受験申請書類を提出する前に本書をご確認くださいますようお願いいたします。

申請書類に不備があった場合は再提出が要求されますので、誤記入・記載もれがないようご注意ください。

#### <目次>

1. 受験地区・実技選択（UT・TTのみ）記入もれ・誤記入 <b>新</b> <b>再</b> ……………	2
2. 視力検査証明書（様式 V-1）に関する不備（添付もれ・色覚検査記入もれ） <b>新</b> ……	4
3. 訓練実施記録集計表・訓練実施記録に関する不備（署名・押印もれ） <b>新</b> ……………	6
4. レベル2の受験申請に関する不備（レベル1の訓練実施記録・集計表の添付もれ） <b>新</b> ……	7
5. 限定 NDT 方法の受験申請に関する不備 <b>新</b> ……………	7

※本書の **HP** は、協会ホームページ【資格試験】に掲載されている資料を指します。

※ **新** は新規受験申請に関連する不備、 **再** は再試験受験申請に関連する不備を指します。

# 1 受験地区・実技選択 (UT・TT のみ) 記入もれ・誤記入 新再

申請する試験種別により、日程表に記載してある受験地区コードを記入してください。(次頁参照)  
また、UT・TT 受験者 (レベル 1・2 のみ) は【実技選択】をあわせて記入してください。

- ・一次新規・再試験 ⇒ 一次・二次受験地区両方
- ・二次再試験・二次新規 (レベル 3 のみ) ⇒ 二次受験地区のみ

## <新規試験>

2023 年 春 期  
JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 (1,000円/検定料 (検定料) 検定回数 10回まで) (非破壊試験技術者協会)

レベル 1、レベル 2 用 新規受験申請書 (正 副 控)

私は、資格試験実施案内<新規・再試>に記載された内容に同意し受験申請を行います。

申請書提出日 (西暦) 年 月 日 押印

受験申請者  
署名欄  
本欄内へ記入してください。

試験種別	1 〇	2 〇	3 〇	4 〇	5 〇
試験種別	1 〇	2 〇	3 〇	4 〇	5 〇

試験種別 (西暦年) 月 日 試験種別 (西暦年) 月 日

レベル 1 受験申請書で、全部受験する NDT 方種別のレベル 1 (高圧容器管線) も選択し、試験時間の確保を要する場合は、**④にレベル 1 資格取得者の認定番号を記入し、資格取得者のコピー (有資格者の証明書)**を添付してください。

<例> UT 2 の受験申請書で、試験時間の確保を要する場合は、UT 1 の資格取得者のコピー (有資格者の証明書) を添付してください。

受験申請者 NDT 方種別

N	P
---	---

資格  
資格送付先  
住所  
住所

私は、上記実施案内  
①本受検申請  
②検力要求  
雇用責任者  
勤務先  
勤務先住所  
電話番号/FAX 番号 電話番号 FAX 番号

JISNDI EA4-1 (Rev.2023/10/1)

一次試験から受験する場合は、二次試験の受験地区の記入も必要です。

※記入例 (新規試験、東京地区、UT レベル 2、探傷器 G タイプの受験申請の場合)

一次		二次	
1	3	1	3

実技選択				該当する番号 を丸で囲む
UT	1 (持込み) ②	G タイプ	3 (R タイプ)	
TT	4 (NEC/Avio)		5 (FLIR)	

## <再試験> ※TT 及び LT の再試験は 2019 年秋期試験から開始

20 年 期 専 用 JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 再試験受験申請書 (受験申請書発行番号)

私は、資格試験実施案内<新規・再試>に記載された内容に同意し受験申請を行います。

受験年	20	20
試験種別	一次再試①	
申請NDT方法②	UT・レベル 2	
個人コード	P	

申請者  
①申請者署名  
②申請書提出日 西暦 年 月 日  
③一次試験受験地区 日程表を参照し  
④二次試験受験地区  
⑤実技選択 (UT のみ) 別紙記入方法を参照して 2 または 3

受験者氏名	氏名	1997年02月26日生	
フリガナ	シメイシ	性別 男性	
NAME	SHIMEISEI	職種 電気	
勤務先名	勤務先名1234567890		
フリガナ勤務先名	フリガナ1234567890		
送付先指定	送付先 1. 自宅本人 2. 勤務先本人 3. 担当者		
送付先名称	送付先 1234567890		
送付先受験者名 又は担当者名	送付先 1234567890	一電話番号は日中通話が 取れること。	
郵便番号	〒123-0001	町名 町名	
都道府県	東京都	市町村	〒123-0001
大字小字	〒123-0001	丁目	〒123-0001
FAX番号	〒1234-5678	番地	〒1234-5678
	E-mail	郵便番号	〒1234-5678

私は、本受験申  
及び下記①、②  
たり資格試験内  
容に同意し、  
①本受験申請書  
②検力要求 (注  
様式V-IIに基づ

④一次試験受験地区	27
⑤二次試験受験地区	27
⑥実技選択 (UT のみ)	3

一次試験から受験する場合は、二次試験の受験地区の記入も必要です。

※記入例  
(一次再試験、大阪地区、  
UT レベル 2、探傷器 R タイプの  
受験申請の場合)

<受験地コード>

**HP** 【(SA1-1) 新規試験日程表 2023 年春期 JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験】

**一次試験受験地区**

【春期】

※春期と秋期で受験地区が異なる場合があります。(新潟・長崎：春期のみ、高松：秋期のみ)

受験地区	札幌	仙台	千葉	東京	神奈川	新潟	名古屋	大阪	広島	福岡	長崎
コード	01	04	12	13	14	15	23	27	34	40	42

**二次試験受験地区**

<レベル1: **L1** レベル2: **L2** レベル3: **L3**>

受験地コード NDT方法	東京 13	大阪 27	福岡 40	千歳 49	名古屋 23	広島 34
RT		L1 L2	L2			
UT		L1 L2			L2	L2
UM		L1				
MT		L1 L2				
MY		L1 L2				
ME		L1				
PT		L1 L2				
PD		L1 L2				
ET		L1 L2	L2			
ST		L1 L2				
TT	L1 L2					
LT	L1 L2					
レベル3 全NDT方法		L3				

<二次試験の注意事項>

- RT 及び ET の福岡地区、UT の名古屋地区及び広島地区は、レベル 2 のみの実施です。
- 具体的な試験日程は、「新規試験日程表」にて確認してください。

[表の見方 例UTは東京、大阪、福岡、千歳ではレベル1及びレベル2を実施。名古屋、広島ではレベル2のみ実施。]

<実技選択 (UT・TT のみ) >

**HP** 【(SA1-1) 新規試験日程表 2023 年春期 JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験】

7・8 頁「受験申請補足資料-B」

受験申請書記入用番号	デジタル超音波探傷器のタイプ	メーカー
1	持込み探傷器受験	※詳細は EA7-1②「UT 実技試験における超音波探傷器について」を参照。
2	Gタイプ	GE センシング&インスペクション・テクノロジーズ株式会社
3	Rタイプ	菱電湘南エレクトロニクス株式会社
4	NEC/Avio 製 H2630	日本アビオニクス株式会社 (2012 年以前は NEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社)
5	FLIR 製 SC620	フリーアシステムズジャパン株式会社

## 2 視力検査証明書（様式 V-1）に関する不備（添付もれ・色覚検査記入もれ）新

**HP** 【(EA5) 視力検査証明書 様式 V-1】

- ・「視力検査証明書（様式 V-1）」では、【近方視力】と【色覚】の2点について要求事項を満足しているか証明していただきます。
- ・様式 V-1 は 2018 年秋期より新しくなりましたが、旧様式（Rev.20170329 以前）も使用可能です。
- ・新規受験の場合は、「視力検査証明書（様式 V-1）」の提出が必要です。
- ・再試験の場合は提出不要です。

### 旧様式

※①～⑨全てを記入してください。

※「A 近方視力検査」と「B 色覚検査」両方の記入が必要です。

**様式 V-1**

様式 V-1 は旧様式（Rev.20151219 以前）の使用も認めます。

JSNDI EA5 (Rev.20170329)

**JIS Z 2305:2013 「非破壊試験技術者の資格及び認証」に関する視力検査証明書**  
※本書類は検査実施日より 1 年有効（新規受験申請書にはコピーを添付すること。）

(1) 証明者記入欄：私（雇用責任者）は、以下の申請者について視力の要求事項を満足していることを証明します。< ①～⑤の記入欄を全て埋めてください。> 但し、⑥については、一般的な色覚検査（石原式等の確認）で異常の無い場合は、空白でも結構です。申請する NDT 方法に特化して色覚確認された場合、その NDT 方法を記載してください。

証明者	① 雇用責任者氏名・押印	印	② 証明日 20 年 月 日
	③ 勤務先名・役職		

④ 申請者氏名	⑤ 申請 NDT
---------	----------

(2) 視力検査（A 近方視力検査、B 色覚検査）実施者< A, B について記入してください。>  
※レベル 3 資格保持者又は医療機関の方が視力検査を実施した場合は、証明者（雇用責任者）が代筆記入しても構いません。  
 ※雇用責任者に任命をされて勤務先の第三者が視力検査を実施した場合、⑦と⑨の(b)雇用責任者（代理）欄を使用してください。

**A 近方視力検査** (⑥、⑦を記入する。)

⑥ 検査実施日	20 年 月 日		
⑦ 検査実施者 <small>該当する(a)～(d)のいずれかの□にレ点を入れ、必要事項を記入。</small>	<input type="checkbox"/> (a) 雇用責任者 [本紙(1)の証明者]		
	<input type="checkbox"/> (b) 雇用責任者（代理） ⇒	氏名	
	<input type="checkbox"/> (c) レベル 3 資格保持者 ⇒	氏名	
	申請者と同一勤務先の場合は勤務先名省略可	認証番号	N
	<input type="checkbox"/> (d) 医療機関 ⇒	勤務先名	
		医療機関名	

**B 色覚検査** (該当する(7)～(9)のいずれかの□にレ点を入れる。必要に応じて⑧、⑨を記入する。)

(7) 「A 近方視力⑦検査実施者」と同じ者が「B 色覚検査」を実施。⇒⑧、⑨の記入は省略可。

(8) 「A 近方視力⑦検査実施者」と同じ者が「B 色覚検査」を実施したが検査実施日が異なる。⇒⑧のみ記入。(⑨は記入省略)

(9) 「A 近方視力⑦検査実施者」とは別の者が「B 色覚検査」を実施。⇒⑧、⑨記入。

⑧ 検査実施日 20 年 月 日

⑨ 検査実施者 <small>該当する(a)～(d)のいずれかの□にレ点を入れ、必要事項を記入。</small>	<input type="checkbox"/> (a) 雇用責任者 [本紙(1)の証明者]		
	<input type="checkbox"/> (b) 雇用責任者（代理） ⇒	氏名	
	<input type="checkbox"/> (c) レベル 3 資格保持者 ⇒	氏名	
	申請者と同一勤務先の場合は勤務先名省略可	認証番号	N
	<input type="checkbox"/> (d) 医療機関 ⇒	勤務先名	
		医療機関名	

**視力（近方視力・色覚）の要求事項**

**A 近方視力要求事項：**下記の文字（Times New Roman N4.5）[Jaeger number 1 でも可] について 30 cm 以上離れて単眼又は両眼（視力矯正可）で判読できること。近方視力については受験申請前及び資格取得後毎年 1 回実施し、雇用責任者が本書類（原本）又は本書類の様式に準じた記録を毎年保管し JSNDI から提示を求められた場合は提出をしてください。

Times New Roman N4.5

4.5pt : ace, moon, rose, amuse, cave, cross, excuse, wax, zero, measure, curve, news, center

(単位:mm)

(注1) 左記を使用する場合は、枠内の縦と横のスケールの寸法（単位：mm）が原寸であることを確認して下さい。

(注2) パソコンからプリンタ出力する場合は、True Type フォントの指定が必要です。

**B 色覚要求事項：**色覚は、申請する NDT 方法で使われる色彩又はグレイスケール（灰色の濃淡）間のコントラストを見分けて識別できること。申請する NDT 方法において業務上支障がないことを雇用責任者が証明してください。<参考>色覚検査表等を使用される場合の例としては、石原式色覚検査表があります。

4

# 新様式

※①～⑨全てを記入してください。  
 ※「近方視力検査」と「色覚検査」両方の記入が必要です。

様式 V-1

旧様式 (Rev. 20170329 以前) のく様式 V-1 も使用できます。

JSNDI EA5 (Rev.20180705)

**JIS Z 2305:2013 「非破壊試験技術者の資格及び認証」に関する視力検査証明書**  
※本書類は検査実施日より1年有効 (新規受験申請書にはコピーを添付すること。)

【近方視力検査】と【色覚検査】を実施し、①～⑨の欄を**全て**記入してください。

---

【証明者記入欄】私(雇用責任者)は、以下の申請者について視力の要求事項を満足していることを証明します。

証明者	①雇用責任者氏名・押印	印	②証明日 20 年 月 日
	③勤務先名・役職		

④申請者氏名	⑤申請 NDT	
--------	---------	--

【近方視力検査】

⑥検査実施日	20 年 月 日		
⑦検査実施者 <small>(a)～(d)のいずれかの□にレ点を入れ、必要事項を記入。</small>	□(a)雇用責任者 [本紙の証明者]		
	□(b)雇用責任者 (代理) ⇒	氏名	
	□(c)レベル3資格保持者 ⇒	氏名	
	申請者と同一勤務先の場合は勤務先名省略可	認証番号	N
□(d)医療機関 ⇒	勤務先名		医療機関名

【色覚検査】

⑧検査実施日	20 年 月 日		
⑨検査実施者 <small>(a)～(d)のいずれかの□にレ点を入れ、必要事項を記入。</small>	□(a)雇用責任者 [本紙の証明者]		
	□(b)雇用責任者 (代理) ⇒	氏名	
	□(c)レベル3資格保持者 ⇒	氏名	
	申請者と同一勤務先の場合は勤務先名省略可	認証番号	N
□(d)医療機関 ⇒	勤務先名		医療機関名

**視力 (近方視力・色覚) の要求事項**

【近方視力】下記の文字 (Times New Roman N4.5) [Jaeger number 1 でも可] について 30 cm 以上離れて単眼又は両眼 (視力矯正可) で判読できること。近方視力については受験申請前及び資格取得後毎年 1 回実施し、雇用責任者が本書類 (原本) 又は本書類の様式に準じた記録を毎年保管し JSNDI から提示を求められた場合は提出をしてください。

Times New Roman N4.5

4.5pt: acc, moon, rose, attitude, cave, cross, exclude, wax, zero, measure, curve, news, owner

(単位:mm)

(注1) 左記を使用する場合は、枠内の縦と横のスケールの寸法 (単位:mm) が原寸であることを確認して下さい。

(注2) パソコンからプリンタ出力する場合は、True Type フォントの指定が必要です。

【色覚】色覚は、申請する NDT 方法で使われる色彩又はグレイスケール (灰色の濃淡) 間のコントラストを見分けて識別できること。申請する NDT 方法において業務上支障がないことを雇用責任者が証明してください。  
<参考>色覚検査表等を使用される場合の例としては、石原式色覚検査表があります。

5

### 3 訓練実施記録集計表・訓練実施記録に関する不備（署名・押印もれ） 新

**HP** 【(EA3-3) 新規試験用訓練についての案内】

#### <訓練実施記録集計表>

超音波探傷試験 レベル2 訓練実施記録集計表					
NDT方法・レベル 訓練を受けた者の氏名	UTレベル2 非破壊 太郎				
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 太郎 (印)				
訓練内容	訓練内容 訓練内容	訓練内容 必要訓練時間	訓練内容 実習	訓練内容 講義	訓練内容 実習
序論	NDTの目的、用語、基礎知識 超音波探傷試験に関する基礎知識	3.00		3.00	
超音波の伝搬と音場、きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎知識 波の種類 反射、透過と回折 超音波ビームの特性 きずによる超音波探傷	9.00		10.00	
製品知識と探傷技術					
装置					8.00
探傷準備	試験体のきずの発生予測 探傷条件の決定 適用される検査規格	3.00		4.00	
検査	探傷機の調整 標準試験片と對比試験片 浸透探傷法(着色及び染色) 水浸法(着色) 測定範囲の調整及び感度の調整	8.00	6.00	10.00	16.00
評価及び報告	きずの評価・分類 きずと類似指示の区別 超音波指示の解釈と評価	3.00	12.00	3.00	16.00
検査の品質	探傷者の資格 機器の検証	2.00		2.00	
		合計		A 45.00	B 40.00

◆2015年秋期試験から2016年秋期試験までは、旧制度の訓練実施記録やレベル3の個人学習証明書等をそのまま使用することができます。旧制度の訓練実施記録やレベル3の個人学習証明書を用いる場合は、次の欄をご使用ください。

訓練内容	訓練実施時間
旧制度の訓練 (訓練の有効は5年間です) *この記入欄は2016年秋期試験までしか使用できません*	C 0.00

**<訓練時間集計欄>**

訓練実施記録 添付枚数	訓練期間 (訓練の有効は5年間) 西暦年月日	開始	20**年**月**日	終了	20**年**月**日
3					

**<雇用責任者証明欄>**

添付した訓練実施記録及び本集計表に間違いがないことを遵守事項に同意のうえ証明いたします。

雇用責任者名・押印 日本 一郎 (印) 証明日 20\*\* 年 \*\* 月 \*\* 日

勤務先・所属・役職 日本●●●検査工業株式会社 品質管理部 部長

所在地 〒136-0071 東京都江東区\* \* \* \* 3-2-1

電話番号/FAX番号 TEL 03-\*\*\*\*-\*\*\*\* FAX 03-\*\*\*\*-\*\*\*\*

訓練を受けた方が自分で署名をし、印鑑を押してください。

#### <訓練実施記録>

浸透探傷試験 レベル2 訓練実施記録										
NDT方法・レベル 訓練を受けた者の氏名	UTレベル2 非破壊 太郎									
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 太郎 (印)									
訓練内容	訓練内容 訓練内容	訓練内容 必要訓練時間	訓練内容 実習	訓練内容 講義	訓練内容 実習	訓練内容 講義	訓練内容 実習	訓練内容 講義	訓練内容 実習	訓練内容 講義
序論	非破壊検査一般	0.50	1.00	1.00	2015/12/10	2015/12/10	●●非破壊試験訓練センター	検査一男	●●非破壊試験専門学校	
NDT方法の原理と関連知識	超音波探傷試験の原理 浸透探傷試験の原理 磁粉探傷試験の原理 放射線探傷試験の原理	1.50	2.00	1.00	2015/12/10	2015/12/10	●●非破壊試験訓練センター	常務一男	○●浸透化学工業 製造部	
製品知識及び製法とその技術の能力	探傷機の調整 標準試験片と對比試験片 浸透探傷法(着色及び染色) 水浸法(着色) 測定範囲の調整及び感度の調整	0.50	1.50	1.00	2015/12/10	2015/12/10	●●非破壊試験訓練センター	教育一太郎	●●非破壊試験訓練 教育訓練部	
装置	探傷機の調整 標準試験片と對比試験片 浸透探傷法(着色及び染色) 水浸法(着色) 測定範囲の調整及び感度の調整	1.00	1.50	1.50	2015/12/10	2015/12/10	●●非破壊試験訓練センター	浸透三郎	●●非破壊試験訓練 教育訓練部	
試験実施前の情報	試験体のきずの発生予測 探傷条件の決定 適用される検査規格	1.00	1.00	1.00	2015/12/11	2015/12/11	●●非破壊試験訓練センター	浸透三郎	●●非破壊試験訓練 教育訓練部	
探傷試験	探傷機の調整 標準試験片と對比試験片 浸透探傷法(着色及び染色) 水浸法(着色) 測定範囲の調整及び感度の調整	0.50	0.50	1.00	2015/12/11	2015/12/11	●●非破壊試験訓練センター	教育一太郎 浸透三郎	●●非破壊試験訓練 教育訓練部 ●●非破壊試験訓練 教育訓練部	
評価と報告	きずの評価・分類 きずと類似指示の区別 超音波指示の解釈と評価	0.50	0.50	1.00	2015/12/11	2015/12/11	●●非破壊試験訓練センター	評価五郎	■●検査工業 品質管理部	
品質管理	きずの評価(製造と材料の影響)	0.50	0.50	1.00	2015/12/11	2015/12/11	●●非破壊試験訓練センター	検査一男	■●検査工業 品質管理部	
環境と安全	探傷作業の安全	0.50	0.50	1.00	2015/12/11	2015/12/11	●●非破壊試験訓練センター	検査一男	●●非破壊試験専門学校	
検閲	講義と実習の時間配分	0.00	16.00	13.00	13.00	12.00				
検閲	最小限の訓練時間(講義+実習)	24.00		25.00						

◆2015年秋期試験から2016年秋期試験までは、旧制度の訓練実施記録やレベル3の個人学習証明書等をそのまま使用することができます。旧制度の訓練実施記録やレベル3の個人学習証明書を用いる場合は、次の欄をご使用ください。

旧制度の訓練 (訓練の有効は5年間です) \*この記入欄は2016年秋期試験までしか使用できません\*

**納掛の入力枠以外は変更しないでください**

訓練実施記録 添付枚数 3

訓練期間 (訓練の有効は5年間) 西暦年月日 開始 20\*\*年\*\*月\*\*日 終了 20\*\*年\*\*月\*\*日

訓練の種類 必要な訓練時間 訓練実施時間

講義 40.00~59.00 A 45.00

実習 21.00~40.00 B 40.00

旧制度の訓練 -- C 0.00

最小限の訓練時間 80.00 計 85.00

**<訓練機関名>** ABC検査工業株式会社

所在地 〒999-9999 東京都

所属・役職 品質管理部

電話番号/FAX番号 0123-4567-89

訓練実施記録 添付枚数 3

訓練期間 (訓練の有効は5年間) 西暦年月日 開始 2015年12月10日 終了 2015年12月12日

訓練の種類 必要な訓練時間 訓練実施時間

講義 40.00~59.00 A 45.00

実習 21.00~40.00 B 40.00

旧制度の訓練 -- C 0.00

最小限の訓練時間 80.00 計 85.00

雇用責任者名・押印 日本 一郎 (印) 証明日 2015年12月12日

勤務先・所属・役職 日本●●●検査工業株式会社 品質管理部 部長

所在地 〒136-0071 東京都江東区\* \* \* \* 3-2-1

電話番号/FAX番号 TEL 03-\*\*\*\*-\*\*\*\* FAX 03-\*\*\*\*-\*\*\*\*

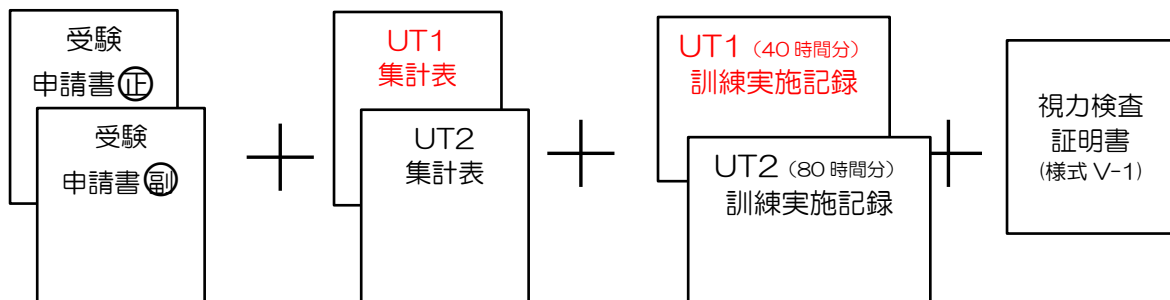
訓練を受けた方が自分で署名をし、印鑑を押してください。

## 4 レベル2の受験申請に関する不備 (レベル1の訓練実施記録・集計表の添付もれ) 新

レベル2を受験する場合には、レベル2の訓練実施記録集計表および訓練実施記録の他に、レベル1の訓練実施記録・訓練実施記録集計表の添付が必要です。

〈例：UT1 非保持者がUT2の受験申請をする場合〉

- 【提出書類】
- ・受験申請書（正・副）、
  - ・UT1とUT2の訓練実施記録集計表、
  - ・UT1とUT2の訓練実施記録、
  - ・視力検査証明書（様式V-1）



## 5 限定NDT方法の受験申請に関する不備 新

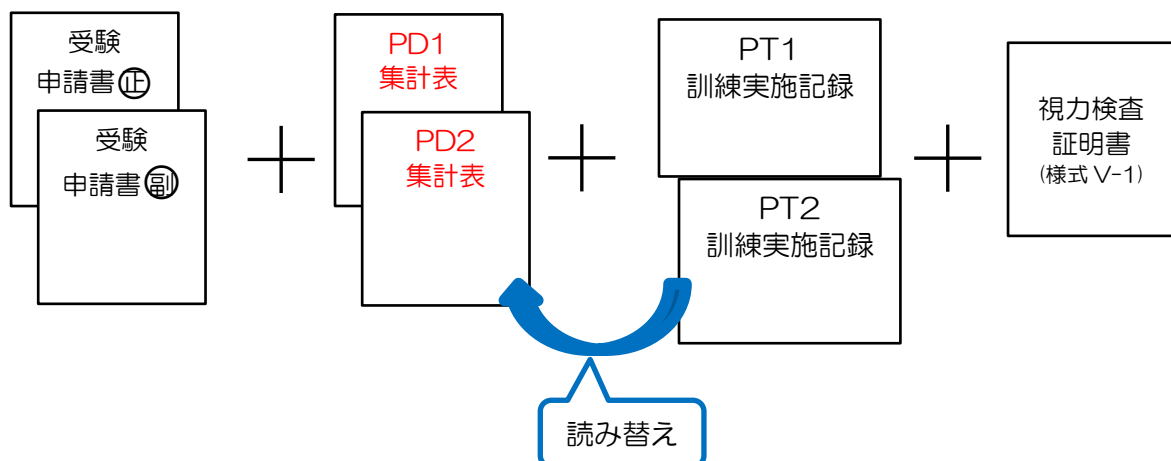
**HP** 【認証事業本部からのお知らせ】「限定NDT方法を受験する方へ」

MTまたはPTの訓練を受けて限定NDT方法（MY・MEまたはPD）を受験する場合、MT/PTの訓練実施記録に記載されている訓練内容のどの項目が限定NDT方法の訓練に相当するか確認し、集計表を作成する必要があります。

読み替え方法については、訓練実施機関もしくは訓練者に確認してください。

〈例：PD1 非保持者が、PTの訓練を受けてPD2の受験申請をする場合〉

- 【提出書類】
- ・受験申請書（正・副）、
  - ・PD1とPD2の訓練実施記録集計表、
  - ・PT1とPT2の訓練実施記録、
  - ・視力検査証明書（様式V-1）



以上